

平成21年度子ども霞が関見学デーに初参加し、「公文書の修復実演&和綴じ体験」「公文書等をテーマとしたゲーム・クイズ」などを通じて、国立公文書館の仕事をアピールしました

「子ども霞が関見学デー」は、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、政府の施策に対する理解を深めてもらうことを目的に、各府省庁などが参加して実施しています。今年は、8月19日(水)、20日(木)の2日間にわたり開催されました。

国立公文書館は、今回初めて内閣府のイベントに参加し、公文書に関連したパネルや当館の「歴史公文書探究サイト ぶん蔵」キャラクターを活用したポスターなどで、ブースの雰囲気づくりに工夫をこらすとともに、子どもたちに公文書の大切さや当館の仕事を、楽しみながらより良く理解してもらうため、

- 公文書の修復実演&和綴じ体験

- 公文書等をテーマとしたゲーム・クイズ

など、体験・参加型のプログラムを展開しました。

当館ブースの「公文書の修復実演&和綴じ体験」には、多くの子どもたちが体験参加して真剣な眼差しで取り組み、また、「公文書等をテーマとしたゲームやクイズ」には、親子が夢中でゲームを楽しむ姿や、クイズに頭をひねりながら取り組む子どもの様子、それを取り囲む見物客があふれるなど大いに盛り上がりました。

さらに、開催中の「夏の企画展「気象」」などの手作りポスターやパネルを掲示したり、今秋開催の特別展「天皇陛下御在位20年記念公文書特別展示会」の予告リーフレット等を配布しました。



